

No.86

2013

11月15日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
下井 美紀男
印刷
下市田・キタバヤシ印刷



実りの秋
萩の郷文化祭り
ふれあい広場 開催！



今年は秋に入っても不安定な天候が続いています。深まりゆく秋の訪れのなか、伊那谷特有の赤石連山が映える抜ける様な青空が待たれます。

十月十九日・二十日の両日「下市田文化祭り」「萩の郷ふれあい広場」が、多くの皆様のご協力により開催されました。

下市庵での抹茶接待に続く力作秀作揃いの作品展示場は、熱心な区民の皆さんで盛況でした。

区民広場では、地元消防団員と子供さんのふれあいを通じて防災活動が出来ました。

翌日の「ふれあい広場」には、あいにくの天候にもかかわらず多くの皆様にお集まりをいただきました。

今年は松川町の「和楽座」の公演が行われ、大きな拍手と笑いで盛り上がりました。

式典に入り一四五名の高齢者表彰と記念品贈呈の後、昼食をとりながらの歓談のなか、各種グループによる発表が行われ、恒例の舞台・客席・参加者全員による「信濃の国」の大合唱で、閉会を迎えました。

区の情勢について

区長 下井美紀男

源・遺跡群を避けることなど、下市田は直

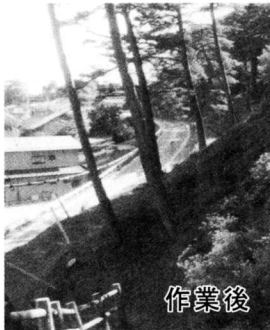
今年は局所的に猛雨が降りましたが、大災害をもたらした。異常気象とも言われて久しいが、それを超えた猛烈な暑さ、猛烈な雨に警戒するようにと報道されると、三・六災害が脳裏をかすめ防災について考える、今年の夏もそんな日々でした。

(一) 台風18号では、四区の間ヶ沢の里山に崩落があり、倒木や土砂が川や道路を塞ぐという状況が発生しました。今後の心配もあり、町の担当を通じて事後対策を構えたいと思います。

(二) 次にリニアについてルート及び駅の位置がどのほど示されました。当初の下市田の平坦地という構想からは、飯田の水



作業前



作業後

一〇〇〇㎡余ありますが、町の公園整備事業が二十四年度より三ヶ年の計画で始められ、本年度は二年目で写真に見るようにきれいに雑木が伐採され、道路上にのり出していた大木も適宜枝伐採で取り除かれて、東方面からの景観もよくなっています。区としては山の管理面で大変助かっております。

中間監査報告

監査委員長 北沢義弘

去る十月二十三日に下市田区関係の上半期会計の中間監査を実施いたしました。

一般会計・特別会計・営繕準備金特別会計の監査を行い、区費の徴収状況・諸収入徴収状況等、支出面においては、各科目の支払い内容及び金額について検証いたしました。正確に処理されている事を報告いたします。

公民館・萩山神社会計についても、上半期の決算報告書の提出をいただき、支払い内容・金額を検証した結果、正確に処理されている事を認めましたので、報告いたします。



平成25年度 下市田区一般会計中間決算報告書

(自 平成25年4月1日～至 平成25年9月30日)

決算収入額 19,313,599円 決算支出額 9,126,113円 差引残高 10,187,486円

【収入の部】

科 目	予算額	決算額	増 減
前期繰越金	7,100,874	7,100,874	0
区 費	15,700,000	7,807,180	△ 7,892,820
町 支 出 金	7,570,000	2,541,100	△ 5,028,900
財 産 収 入	1,120,000	0	△ 1,120,000
地元負担金	500,000	56,334	△ 443,666
消防義務金	1,600,000	1,630,000	△ 30,000
諸 収 入 金	2,200,000	178,111	△ 2,021,889
収入合計	35,790,874	19,313,599	△ 16,477,275

【支出の部】

△印減 (単位 円)

科 目	予算額	決算額	増 減
総 務 費	12,652,000	3,365,901	△ 9,286,099
環境衛生費	1,000,000	0	△ 1,000,000
林 務 費	830,000	160,643	△ 669,357
土 木 費	3,897,000	123,700	△ 3,773,300
水 利 費	6,527,000	2,286,594	△ 4,240,406
防 災 費	2,426,000	1,689,275	△ 736,725
公 民 館 費	3,000,000	1,500,000	△ 1,500,000
予 備 費	5,458,874	0	△ 5,458,874
支出合計	35,790,874	9,126,113	△ 26,664,761

平成25年度 公民館下市田支館 中間決算報告書

(自 平成25年4月1日～至 平成25年9月30日)

決算収入額 2,289,867円 決算支出額 1,535,417円 差引残高 754,450円

【収入の部】

科 目	予算額	決算額	増 減
繰 越 金	406,577	406,577	0
繰 入 金	3,000,000	1,500,000	△ 1,500,000
補 助 金	520,000	377,200	△ 142,800
雑 収 入	1,000	6,090	5,090
収入合計	3,927,577	2,289,867	△ 1,637,710

【支出の部】

△印減 (単位 円)

科 目	予算額	決算額	増 減
総 務 費	1,930,000	739,897	△ 1,190,103
事 業 費	1,840,000	774,520	△ 1,065,480
広 報 費	20,000	21,000	1,000
予 備 費	137,577	0	△ 137,577
支出合計	3,927,577	1,535,417	△ 2,392,160



萩の郷祭り

—7月27日—

地域の輪 盛大に

二十五年度萩の郷祭りが、七月二十七日に下市田区民会館広場に於いて盛大に開催されました。支館の一大事業でもあります萩の郷祭りを成功させようと、一ヶ月以上も前から下井区長・坂牧支館長を中心に支館部員全員が一丸となって計画、準備に取り組んで参りました。取り分け企画・運営に当たりましては、昨年の反省会記録に基づき緻密な補充や修正を話し合いながら計画を進めました。

当日は、支館部員は各担当に分かれ、責任者の元、朝から汗を流しながら準備を行いました。昼食にカレーを作って皆で食べたのも楽しい思い出です。

次第に舞台が組まれ、本部席のテントが出来、お楽しみコーナーの各区青年会・やまの会の皆さんのテントが張られると、お祭りの雰囲気も



ぐっと盛り上がって来ました。六時の開会を前に、出演される方々や浴衣や甚平を着た子供達が大勢集まって来て、広場はたちまちいっばいになりました。

そして五時半、紅華の皆さんによる呼び込み太鼓が始まると舞台の周辺は人の渦が出来始めました。続いて第一部では木遣保存会の木遣、第二部では紅華の皆さんの力強く素敵な演奏、第三部で

子供エアロビクス、第五部では各区の皆さんのすばらしい発表、第六部では育成会による縄文の火おこしと花火大会。そして第七部は、全員で盆踊りとフォークダンスを踊りました。

子供達のキラキラした笑顔は本当に素晴らしく、ダンスでもエアロビクスでも時代を先取るパフォーマンスがあり、目を見張りました。火おこしの時のあの期待に満ちた顔、

そして又花火大会では、満面の笑顔で、夢中で色とりどりの花火の先を追う姿を見ました。この子供達が楽しかった思い出を胸に残しながら大人になり、又伝統行事である萩の郷祭りを継承していくてくれる事だろうなと感じ、

万感の思いと共にエールを送りたい気持ちで一杯になりました。ご協力頂

いた皆様全員に心より感謝申し上げます。

工藤記



平成25年度 下市田文化祭り 萩の郷ふれあい広場



芸術の秋を満喫 萩の郷文化祭り

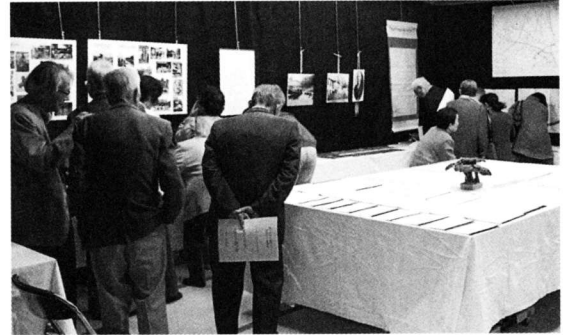
萩の郷文化祭りが、十月十九日・二十日の両日、下市田区民会館に於いて開催され、見応えのある沢山の作品展示と、茶道クラ色合いの美しい小物やバッグは、四区革工芸クラブ。思い出の着物や布から、袋物やタペストリー等を仕上げた手あそびの会。NPO法人びすけっとは、ちぎり絵・パッチワーク等に挑戦。趣のある器・植木鉢はやらまい会。手型足型の微笑ましい作品は、かいじゅうサークル。美人画・水墨画・洋画・かな書道・写真の会場には、二十年、三十年



また、下市田史談会・古文書研究会会場では、完成に五年を要した「萩の郷方言集」、区内遺跡の研究、江戸時代の貴重な文献等々について、丁寧な説明がなされていた。屋外には、丹精して育てた五葉松をはじめ、寒ぐみ・ろうや柿・べにやっこ等の美しい盆栽が並べられました。

当日は生憎のお天気でしたが、大勢の皆様にご来場頂き、盛会裏に幕を閉じることができました。

手塚記



萩の郷 ふれあい広場

十月二十日、小雨の中七十五歳以上の皆様をお招きして、平成二十五年「萩の郷ふれあい広場」が区民会館にて盛大に開催されました。

開催前には、茶道クラブの方によりお茶がふるまわれ、肌寒い陽気でしたが体が温まるおもてなしを頂きました。

ふれあい広場が開催され、午前の部は「和楽座」による「剣劇・どじょうすくい・歌」等の演目の発表があり、どれも気迫がこもった素晴らしい演



舞でした。続いて長寿の式典が行われ、喜寿・米寿・卒寿の方々が表彰され記念品が贈られました。祝宴・昼食となり、お酒とお腹が満たされた中で、午後の部の舞台発表が始まりました。「高森ニューサウンズ」による「秋の童謡メドレー」等、馴染みの深い曲の演奏に会場は手拍子がおこりました。続いて「さくら会」による健康体操です。座つても簡単にできる体操を曲に合わせて踊りました。次に「ハニーベル」によるハンドベルの演奏です。透き通った音色に会場全体が静かに聴き入っ



杉田記

ていました。祝宴の最後は、全員参加で「紅葉・信濃の国」を合唱し、長寿の皆様のを合奏し、長寿の皆様の末永い健康を皆で喜び、終宴となりました。

消防ふれあい広場

消防団第一分団副分団長 北沢茂利

毎年恒例に
なってきたし
た「消防ふれ
あい広場」を
今年も開催す
る事ができま
した。今年度
高森町消防団
第一分団では
「人と人の繋
がり」を分団
目標として活
動しております。地域住
民の方々にお力添えを頂
きながら「消防ふれあい
広場」を通じてコミュニ
ケーションをとり、より
繋がりを深める事ができ
ました。



とのない消防機材に触れ
て頂き、消防の緊張感を
この機会にしっかりと体
感して頂けたと思います。
他の内容は毎年変化が
乏しく、どうしても代わ
り映えのしないように思
われがちですが、子供達
は素直に喜んでくれ、元
気が体中から漲っている
気がします。

のを感じて、見ているこ
ちらが元気を分けて頂き
ました。
最後になります。こ
れからの季節は火災が発
生しやすい時期になりま
す。火の取り扱いなど、
各ご家庭での予防消防の
徹底をよろしくお願い致
します。

氏子の皆様お願いだ

氏子総代長 久保田利明

荻山神社の氏子の皆様
には、常日頃神社の祭事
を始め、護神運営にご協
力を戴き厚く感謝申し上
げます。

さて荻山神社の御柱祭
が、平成二十八年春祭に
実施されます。

過日八月に、下市田区
各団体の代表者の方々に
お集まりをお願いして御
柱祭に向けての初めての
会議を開き、御柱祭に向
けての一步を踏み出す事
が出来ました。平成二十
八年の御柱祭に向けて、
申歳の皆様を中心に実行
委員が結成されスタート
を切ることが出来ました。
十月に入り神社総代と



委員会活動報告

防災委員長 松村啓八

九月一日の防災訓練に
おいては、区民の皆様方
の御協力有難うございま
した。今年は、昨年より
多く、二七〇名の方々が
参加下さり、防災に対す
る意識が高まって来たの
だと思えます。

先日反省会があり、各
自治会・委員会の皆様よ
り、多くの反省点及び問
題点があげられました。

安否確認においては、
避難出来なかった方々の
確認が重要。次回は避難
後に致しました。

今後の方針として、来
春に仮見立を実施し、そ
の後に本見立を行い御柱
の決定に運びたいと思っ
ております。

氏子の皆様、平成二十
八年の荻山神社御柱祭が、
大勢の皆様のご協力の下
で盛大に祭事が出来ま
すよう絶大なご協力をお願
い致します。

最後に、氏子の皆様方
の益々のご健康と、ご発
展をご祈念申し上げます。



下市田二区防災訓練

地域の紹介

地域の和・輪

三区自治会長

古瀬 栄一

が一緒になって
楽しむ軽スポー
ツ多世代交流、
隔年でふれあい

下市田三区は運動会を実施しており、天竜川沿いの河岸段丘下段・中段・上段にまたがって二四五戸、人口九四四人を擁し、下市田区のほぼ中央に位置しています。

いにしえの心よりどころとしての萩山神社・安養寺を抱え、萩山郷土芸能保存会が行う春祭り、七年に一度行われる御柱祭は多数の観客が訪れ、萩山神社へ奉納されます。

近年は若い世代の方達の転入が多くみられ、地域が少しずつではありますが、若返った様に感じます。

コミュニケーション活動も、お好み演芸会、老若男女



全員が、明るく元気な地域づくりを目指して、活動を展開しています。

ヒマラヤの

登山と探検

二区 松島

信幸



る。半世紀前の
当時は、外国へ
の渡航禁止であ
り、日本とは国
交のないネパールの入
国など、登山とは異なり、
登山するよりはるかに困
難な状況だった。からく
もいくつかのハードルを
越えて地球の屋根へとた
どりついた。登山は氷河
の氷壁をいかにして登る
かが最大の困難点だっ
た。われわれにとっ
ては未経験の連続だっ
た。標高差三〇〇〇
米の氷河帯を十五日
間かけて登頂した。

復興特別税

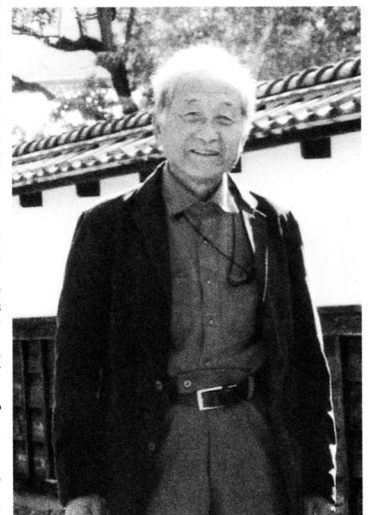
五区 小川 俊直

がその費用を負担
することは、誰も
は理解し、反対すること
はないものではないので
しょう。しかし、その使
途については、本当に復
興のために使用されてい
るのか、注目していく必
要があるのではないでしょ
うか。

今年の一月から二十五
年間所得税に対して二・
一%が、平成二十六年か
らは県民税・町民税それ
ぞれ五百円が、東日本大
震災の復興施策の財源確
保のために課税されるこ
ととなりました。

サラリーマン等につい
ては、すでに一月分の源
泉徴収税額より、復興特
別税が徴収されています。
大震災復興のため国民

日本人が
ヒマラヤの
処女峰へ初
登頂した記
録として、
飯田山岳会
のサルバチヨ
メ初登頂は
戦前戦後四
番目となる。戦前は立教
大学によるナンダコット、
戦後は日本山岳会による
国を挙げてのマナスル
(一九五六年)、京都大学
によるチヨゴリザ(一九五
八年)、続いてわれわれ
のサルバチヨメ(一九五
九年)である。



登山成功後は、われわ
れの主目的であるランタ
ンヒマール山域の学術調
査を実施し、当時未知だっ
た氷河奥域を探索した。
先般十月五日、飯田美博
で「山岳映像企画サルバ
チヨメ」を実施し、記録
集の出版を手掛けた。



の方はご存じないのでは
ないでしょうか。
予算の内容は、被災地
の住宅建設等が始まった
時に、安定して木材を提
供できるように、林道整
備・木材搬出のための工
事に使われるものであり
ます。
果たしてこれらのため
に必要な予算なのでしょう
うか？被災地のがれき
撤去・新たな街づくり費
用、放射能汚染地域の除
染作業費用に重点的に予
算を使う必要があるの
ではないでしょうか？
今後長期間にわたって
負担しなければならぬ
復興特別税。ただ負担す
るだけでなく、その使途
にも注目していきたいも
のであります。

がんばったぞ!! 水泳大会

小三 宮下咲良 (五区)

私は、週に三回スイミングにかよっています。私は、九月二十九日にあった「第七回長野けんすいミング秋季B・C級水泳競技大会」に出ました。岡谷であつたのでバスで行きました。私は50mの平泳ぎ、クロールに出ました。平泳ぎは、54秒68で学年九人中五位でした。目ひょうは、キレイで早い泳ぎだけどキレイで泳ぎました。今回は、いいかったです。



出来ませんでした。かながあまり出せなかったの、レベルが高くて大会で、はんせい、ふりかえりをしてこれからの泳ぎにいかせるように、毎日しっかりと練習をして、次の大会では、タイムを、ちぢめられるように、がんばりたいです。

小学校最後の運動会

小六 北林茉侑 (四区)

最後の運動会の決意は組体操を全力でやって、会場にいる人を感動させる、にしました。

そのため、学校では、

砂まみれになりながら、

毎日倒立五回連続成功

させるという宿題

を出され、家でも

練習にはげみまし

た。

天気の関係で、

一日のびてむかえ

た当日。係の仕事

をやり、全部の競



代議員会研修旅行

代議員会研修旅行が、九月五日・六日に行われ



かなうちに神戸に到着しました。

最初の見学地「沢の鶴

酒造資料館」を見て昼食

をとり、次は「神戸防災

センター」に行き、阪神・

淡路大震災の映像や体験

談を聞き、災害に対する

知識を身につける事が出

来ました。

明石海峡大橋を渡り淡

路島に到着、本日の宿泊

地洲本温泉の「海月館」

に到着。ひと風呂浴びて

宴会です。

代議員会長さんの音頭

で乾杯をし宴会に入り、

途中で吉川副区長さんの

手品が場を盛り上げ賑や

かな宴会となりました。

ました。

今回は、神

戸淡路島方面

への旅です。

台風明けの朝

区民会館を出

発し、一路神

戸へと向かい

ました。

車中では下

井区長さんの

挨拶があり、

少しアルコー

ルも入りやや

かなうちに神戸に到着し

ました。

最初の見学地「沢の鶴

酒造資料館」を見て昼食

をとり、次は「神戸防災

センター」に行き、阪神・

淡路大震災の映像や体験

談を聞き、災害に対する

知識を身につける事が出

来ました。

明石海峡大橋を渡り淡

路島に到着、本日の宿泊

地洲本温泉の「海月館」

に到着。ひと風呂浴びて

宴会です。

代議員会長さんの音頭

で乾杯をし宴会に入り、

途中で吉川副区長さんの

手品が場を盛り上げ賑や

かな宴会となりました。

翌日は少々疲れた様で

したが、天候も良く無形

民俗文化財の淡路人形座

を見学し、最後の見学地

鳴門海峡のうず潮です。

大潮の時期で最高のうず

潮を見物出来ました。

沢山な土産を買い帰路

につきました。一時の息

抜きをし、親睦を深める

事ができ、有意義な旅行

でした。

二区自治会長

富田 紘

編集後記

恒例の萩の郷ふれあい広場に、松川町生田の皆様の「和楽座」公演が行われた。約八年前に「和をもつて楽しくやろう」ということで同一座が結成され、八十歳以上の高齢者の方が、楽しく、元気の演技や、踊りをされていることに感動しました。「さくら会健康体操」で「ぼけない音頭」が披露されました。その歌詞のとおり、何かの趣味を持ち、それを楽しむことも長寿の秘訣の一つだと思います。